



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

December, 1988 V-6

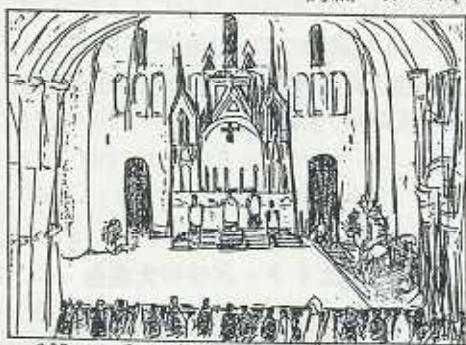
1988-1989		THEME
IP	共に歩き友となる	WALK BESIDE ME AND BE MY FRIEND
RD	核心 拡充 活発 改革	VISION VOICE VITALITY
DG	理想を追い求めよう	WE GROW OLD BY DESERTING OUR IDEALS
CP	クラブコミュニケーションの輪を強めよう	LET'S MAKE OUR CLUB OPEN & FRIENDLY

EMPHASIS THIS MONTH : IBC YEEP の月

今月の聖句

新しい歌を主にむかってうたえ。
 全地よ、主にむかってうたえ。
 主にむかって歌い、そのみ名をほめよ。
 日ごとにその救いを宣べ伝えよ。
 もろもろの国の中にその栄光をあらわし、
 もろもろの民の中にそのくすしみわざをあらわせ。

詩篇 第96篇1-3節



1977.12 F. Shikata.
 Night of Christmas of (Dakomachi Church).

Statistics(統計)

会員数	37名	ニコニコ献金	
第1例会会員出席者	20名	11月	15,280円
第2例会会員出席者	5名		
メークアップ	1名	BF 現金	切手
出席率	56.76%	11月	74,000 900pt
		累計	81,000 11,530pt
ゲスト&ビジター	3名	EMCファンド11月累計	
メネット	2名		565,439円

11月の切手提供者

田中君、上月君、松添君、鈴木君、掛江君、池田君、
 杉浦君、湯浅君、国際・社会奉仕センター

12月第1例会プログラム

(今月のテーマ: IBC・YEEP)

-X' mas Family Party-

日時 1988年12月21日 (水) P.16:30~8:30
 場所 大阪クリスチャンセンター
 大阪市東区2丁目26-47 (06-762-7701)
 会費 メン:3,500円、メネット ゲスト:4,500円
 コメット:2,000円

(1000円程度のプレゼントを御用意下さい)

- 第1部 スライドと讃美歌による讃美礼拝
 ナレーター ? 聖歌隊 ??
 奏楽 谷川メネット
- 第2部 乾杯と晚餐
1. 開会 会長
 2. ワイズソング 一同
 3. ゲスト紹介 会長
 4. 乾杯 鈴木君
- 第3部 ゲームとプレゼント 掛江君
6. ゲーム & プレゼント
 7. お誕生日祝い
 8. クリスマス献金 ドライバー
(大阪クリスチャンセンターの為に)
 9. 役員会、委員会報告、YMCAニュース
 10. 閉会 会長

今月の例会当番

第3班: 眞嶋、藤井、谷川、三浦、笠松、桂の皆さん
 準備、後片付け等御協力お願いします。

第2例会は12月27日(火)

“サントネージュ”(B1)で忘年会! 全員集合!

掛江康一

今月は、BF・EFの強調月でした。それで、この機会に私たちがBF・EFを再度考えようということで、日本区BF・EF事業主任の川戸徳郎君を迎えました。BFとはブラザーフードファンドですね。使用済み切手の募集と現金による基金です。BF代表への旅費支給などに使われます。今回のお話では使用済み切手の集め方（こちらから出す文書に記念切手を貼り、先方に趣旨を説明して、回収に協力してもらう。等）とか、現金ポイントの工夫（バザーや物品販売を行って資金を集める。等）を聞くことが出来ました。さらにBFの使われ方については、リファンドを積極的に使う案とかBF代表を出してほしいという話でした。

EFとはエンドーメントファンドで、何かワイズメンとして、またクラブとしてお祝いや記念すべき事があれば、1口100ドル相当額以上を寄付する制度ですが、積極的に参加してファンドを強化しようというお話でした。さて、今回のもう一人のスピーカーは当クラブのメンバーである中村隆幸君ですが、最近アルゼンチン、ブラジルでの学会から帰国されたので、そのお土産話を聞きました。アルゼンチンのタンゴ、ブラジルのサンバの踊りこそ習ってこられなかったようですが、楽しい経験と共に、治安の悪さとか、食料品は物価が安いが高実用品が高いというような興味深い話を聞かせていただきました。交通法規がほとんど守られていないという事など、日本で当り前の事が海外で全く違うことも多く、海外の風習を肌で実感して日本が分かって来るのかな、とも思った例会でした。

さて、もう12月が真近。杉浦君が用意したかわいいクリスマス例会のパンフレットも配られ、12月21日に向けて、いろいろ用意がなされているようです。ぜひ、メネット、コメント、知人友人を連れられて、クリスマスの楽しい例会に参加しましょう。

HAPPY BIRTHDAY

黒田敏之君	12.	2
堀 利満君	12.	2
上月英子君	12.	13
瀬戸慶子メネット	12.	15
中村隆幸君	12.	26



平田雅利

去る11月21日に、大阪YMCAにて学んでいらっしゃる留学生に対しまして奨学金を差し上げる選定の委員会が開かれました。堂島奉仕センターの主事の方々と当クラブより谷川様と私の5名にて選定をさせていただきました。この資金は、奉仕センターに関わる協力会費、賛助会費、当クラブの山田様の御寄付などが充当されております。奨学金は、月2万円半年間支給される様になっております。応募者は、留学生30名ございまして、その内13名の予算がありました。

各留学生は、日本人以上の日本語にて文章を書いておられました。内容を読ませていただきますと、皆様全員大変な円高により苦学をされておられます。国からの仕送りはほとんどなく、一方アルバイトを多くいたしますと勉強の時間が取れないというジレンマに陥っておられる様です。1日の食費は500円程度という方もおられますが、その方の日本での勉強の志は、我々の想像を絶する様な感じがします。彼らの目は、生活の苦勞にめげず、なんと明るく輝いている事でしょうか。

我々のクラブも彼らが日本での勉学に少しでも役に立つため協力ができればと思います。

山田孝彦君、日本区代議員に選出される

11月23日開かれました中西部会にて、次年度の日本区代議員選出の為の選挙にて、山田孝彦君（センチニアル）、工藤義正君（土佐堀）、有地正君（枚方）の三名の方々が決定いたしました。

留学生エイド・バザー大盛会

YMCA主催の「留学生エイド・バザー」が11月26日（土）堂島奉仕センターで開かれた。留学生援助の問題は、最近是一般市民の間にも関心が高まりつつあり、新聞やラジオでもこの催しが報道された。そのせいもあってか、12時開場の30分前に行列ができ予定を繰り上げオープンするほどの人気。会場には、皆さんにも献品して頂いた善意の品々・協賛企業の電気製品・衣料品・家庭用品・食品など格安の品が山と積まれたが、みるみる内に買い取られて行った。なかには持ち切れず宅急便を呼んで送る人まで出るフィーバーぶり。4時前にはもう殆ど売れるものがなくなって、主催のYMCAも、奉仕の学生諸君も嬉しい悲鳴を上げる、大盛会の催しであった。

我がクラブから参加し会場で奉仕された方々＝平田・佐藤・谷川・眞嶋各メネット、佐藤・田中・藤井保・中村・山田各メンに感謝。事前に献品や食品の予約受注にご協力くださった皆さんにも御礼申し上げます。

今後ともYMCAへの協力奉仕がワイズダムの基本であることを確認しながら、「YMCAサービス」のプログラムを進めたいと思いますのでよろしくご協賛ください。
(YMCAサービス事業委員 山田記)

ワイズ・YMCA担当主事懇談会開催

ワイズとYMCAの協力関係について考えるための懇談会が、11月19日(土)18時から大阪YMCAで開催された。中西部各クラブの会長・YMCAサービス事業委員とYMCAのワイズ担当主事、約60名が出席。我がセンテニアルからは平田会長と三浦・山田YMCA委員が参加した。

3つのグループに分かれ「両者の協力関係の現状」について意見交流が行われた。YMCA・ワイズ双方の規模が大きくなり発展するにともない、ともすると『YMCAのサービスクラブとしてのワイズ』の原点認識が希薄になりつつあることを問題として、論議が進められた。日本YMCA同盟では6月にワイズ担当主事全国集會がもたれたが、その席でもこのような現状の中で担当主事のあり方・必要性について疑問を持つという意見も出たとか。

ワイズメンにも「正会員はYMCA会員であること」という基本的条件が守られず、会員加入率は60パーセントの現状にある。中にはそのことさえ知らないで加入しているメンバーもいるという実態が少なくないらしい。「会則違反ではないか」「もっと強く要望すべき」という意見も出たが、「入会時にもっときちんと伝えるべきだ」というぐらいで何となく話が煮詰らず、歯切れの悪い時間切れに終わった。中西部ではこれからも継続して交流会を持たれるそうなので、今後の進展を期待したい。

ところでセンテニアルのメンバーはもちろん全員加入でしょうね。もし、うっかりお忘れの方は今からでも直に協力会費を納めて下さい。

(YMCAサービス委員 山田 記)

YMCAニュース

国際クリスマス

1989年12月16日(金) 6:00~8:00

各国の讃美歌・影絵のクリスマス物語で織り成す讃美礼拝。

イタリア・ポーランド・タイ・マレーシア・ブラジルなどの料理、各国のうたとおどり。

場所) 大阪YMCA会館 2階ホール

料金) 大人 1500円 小人 1000円

留学生エイド・バザー

11月26日(土)におこなわれました。

留学生による国際喫茶店、大丸、マツヤ電気、個人商店などの協力による物品販売など多くの方々のご奉仕によって成功裏に終了しました。当日のお手伝いを含めご協力ありがとうございました。

「クリスマスの意義」

田中穰二

聖句「ところが、彼らがベツレヘムに滞在している間に、マリアは月が満ちて、初子を生み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。客間には彼らのいる余地がなかったからである。」(ルカ2:6-7)

毎年クリスマス礼拝で1番よく読まれる聖書の箇所はこのルカによる福音書第2章1節から13節である。これを読むとキリストの生まれた最初のクリスマスは決してロマンチックではなく、逆におそろしく、みじめで哀れなものであったことがわかる。臨月のマリアにとって、ろばの背にのって、ほこりの多いユダヤの石ころ道を旅するのは苦痛で、その上やっとたどり着いたベツレヘムの宿は人口調査で満員であった。ヨセフ夫妻にとっては特に初めてのお産であったから、清潔で静かな部屋が欲しかったであろうに、それがかなわず、何の設備も無い馬小屋で主イエスは生まれたのであった。全くひどい話で、まるで動物扱いであった。しかしよく考えると、このような、たった一つのまともな部屋もない宿での救い主イエスの誕生は人間の罪の現実の象徴である。客間に余地が無かったのは何もベツレヘムだけでなく、私たち人間の生活や魂の中は、先客で満員で、仕事は忙しいし、生活費は上がる一方、とても余裕がなく、もっとお金が時間ができたら何とかしましようというのが現実である。にも拘らず、私たちの魂を求め、心の扉を叩き続けておられるキリストに気がつく時、クリスマスとは私たちにとって何であるかがわかるのである。クリスマスは楽しいばかりではなく、キリストが暗く不安に満ちた世界に光と希望を与える為に自らは貧しい僕で飼葉桶に生まれ、人間の救いの為に十字架を負って下さったことを覚える日なのである。だからキリストの誕生日を

THE CENTENNIAL

祝うことは同時に悲しくみじめで、不安な日々を過ごしている人々を覚え、そのために尽くそうと決意することに他ならない。

今年のクリスマスこそ、心の扉を開いてキリストを受け入れたいものである。

第38回中西部会に出席して

笠松 康彦

11月22日と23日の第38回中西部会に出席して私が感じ、思ったことを述べさせていただきます。

出席された方は名表では約350名位のように見えたが何らかの都合で出席できなくなった方も多少はありました。22日は午後6時半から前夜祭が行われ、勿体ない御馳走とビール、酒に心ゆくまで楽しませていただきました。歌謡曲、手品、童謡などそれぞれのメンバーが自分の特技を披露してくれました。本当に和やかな前夜祭でした。

センテニアルの代表として私が壇上に立つ羽目にはめになったのですが、予めそうなるだろうと予想して用意して行ったのが前々からノートに書き写しておいた「忘れ得ぬ日本のメロディー」（いつも心に生きている歌）を持って行ったので、その内の「七つの子」「あの町この町」「てるてる坊主」「まりと殿様」「しゅじょ寺の狸」などを歌った後で、来る途中電車の中で作った「ワイズメンズクラブ」を行頭にしたり即興詩を紹介しました。「ワ→若やかと イ→いつも ズ→随喜の心にて メ→面々ずれることもなく ク→クラブの目標達成に ラ→乱費ひかえて工夫する ブ→部員の心ありがたし」

明るく23日は勤労感謝の日、朝食はバイキングで沢山の和洋両様の料理が並べられていて、各自がそれぞれ気に入りの物を皿にもって美味しくいただきました。

9時から礼拝があって、10時から会議がはじまる。午前中は各クラブの活動報告をスライドを写しながら説明があった。午後は、「今、ワイズダムとは」という題について代表者の所信表明があって、その後、各班に分かれて各自が思うところを述べる時間となった。

私が所属した班は「0班」であった。プリントでは11名だったが、実際に出席していたのは8名だった。各自のクラブの所属と自己紹介がすんでから、上の課題についてどのように思っているのかを発表することになって、それぞれ自分が関係しているクラブの現状報告をしたり、疑問点などを発表した。

問題はワイズメンとYMCAの関係がはっきりしない、何故YMCAを支援するのが分からない部員がそれぞれのクラブにあることが知らされた。何故わいずワイズのメンバーになったらYMCAの援助会員にならねばならないのかと問われる質問をよく受けるという発言があった。特にYMCAがその場所がない場合は尚更のことで、一応は入会したものの、幽霊会員になってしまったという話も出た。

また入会の動機が有名人との付き合いが出来るので企業経営面で有利になると考えたからで、信仰面に関して

は余り興味を持っていない。したがって、YMCAの後援をするのだということが、入会してから聞かされて、疑問をいだいたというメンバーもいるそうであった。

この会では各班ごとに結論を纏めるのではなかったのに時間が15時近くになって自然に終わることになった。

私の感想は現役で社会に活躍している人々にとっては相互の情報交換や親睦に必要な価値があると考えて入会した人のほうが、信仰面を重視して、特にYMCAの援助を当然と考えて入会した人よりも多いのではないかとことである。そして既に現役を退いて年金だけで細々と田舎で生活している実状ではクラブ員の方々の交流を維持することにいささか不便を感じている。今回の大会にしても、クリスマス会にしても、確かに意義があり、楽しい集いであるには違いないが、それ相当の出費が伴ってくる。隠居生活者にとっては負担が過ぎる思いがする。勿体ない、贅沢などと思われさえする。そうした会合に出席する費用を援助金にまわせば、どれ程多額の援助が出来るかとさえ思う。まだ入会してから半年に満たないのだが、入会する当初はまさか御役御免にならないで勤務し続けられると思っていたので、予想がはずれた始末となった。このような次第なので今後は身分相応の働きをさせて戴きたいと思っている。

ニコニコメッセージ

11月例会より

- 掛江康一君 川戸さんからBF EFについてお話を聞くことが出来て、啓発されました。古切手ノート作りを、考えます。
- 笠松康彦君 川戸様のお話と中村様のお話を聞いて良い参考になりました。
- 黒田敏之君 川戸さん、中村さん、いいお話ありがとうございました。本月は私共の結婚記念月、お祝いは頂かなかったけれど、ニコニコは出します。
- 上月英子君 BF事情、南米事情が良くわかりました。川戸ゲストスピーカー並びに中村スピーカー有難うございました。
- 杉浦眞喜子君 川戸さんのお話ありがとうございました。一生懸命切手集めにはげみます。
- 鈴木謙介君 家内のメネット美藤の白内障手術の成功に感謝して。
- 田中穰二君 BFのお話有難うございました。
- 谷川寛君 川戸さん BF EFのお話有難うございました。また、来て下さい。
- 中村隆幸君 1ヶ月ぶりの参加と無事の帰国に感謝して。
- 藤原正巳君 当月よりBF EF担当となりました。いよいよワイズメンとしての仕事が始まった様な気がします。今後共よろしくご協力の程お願い申し上げます。
- 松尾 明君 川戸様の南米のお話楽しく聞かせてもらいました。
- 松本常見君 BFがんばります。
- 湯浅充章君 お帰りなさい。中村さん。南米旅行の話、大変参考になりました。